



なきごえ



1987

7

大阪市
天王寺動物園協会

石毛直道



その村はアフリカのなかでもいちばん動物のおおい場所であった。ライオン、ヒョウ、キリン、カバ、サイ……アフリカでおなじみの動物で村にいないのはワニくらいのもので

あった。村のなかにエヤシ湖という湖があるが、乾季には水がなくなり、湖底をジープで通行できるようになる。水の枯れない泉に水源をもつちいさな流れにつながる湿地にカバは住んでいるが、ワニの生息できるような場所はないのだ。

動物園のなかにあるようなこの村に、住みこんで、わたしは民族学の調査をしていた。1967～8年のことである

このマンゴラ村はタンザニアの奥地にある。村といっても神奈川ほどの面積があるが、人口はわずか5,000人にすぎない。人間よりも動物の数のほうがはるかに多い。

南北に走る断崖が村の西の境になっている。崖のうちはアフリカでいちばん動物がおおいといわれるセレンゲッティ自然保護区である。セレンゲッティとマンゴラ村のあいだを移動する動物の群れもある。

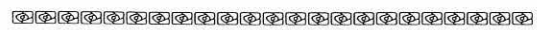
そんなサバンナのただなかの村なので、野生動物と出あうのは日常のことだ。藪の道のあるいと、足もとからホロホロ鳥がとびだす。おんぼろのジープでキリンやトムソンガゼルと競争をするのが、わたしの気晴しであった。下宿している農家の部屋に猛毒蛇であるブラックマンバがでてお騒がせしたりもした。夜道のあるいていてヒョウに出くわしたこともある。茂みを曲がったところ、目のまえに

赤く光るヒョウの目玉があった。むこうもおどろいたのであろう。わたしの頭上を飛びこえてそのまま行ってしまった。わたしの下宿していた家の主人は密造酒つくりの名手であった。ときどきドラム缶一本ぶんの酒をつくり、庭を酒場として、村人に酒を飲ませて収入を得ていた。酔っぱらった男がふらふらとサバンナのなかの家路をたどると、そのあとをハイエナがつける。千鳥足のおぼつかないあるきかたは瀕死のけだものとおなじようにみえるのであろう。泥酔のあげく、ついに倒れて寝ると、ハイエナがしのびよって、試みに手足をかじってみる。痛いので飛び起きると、それ以上はおそってこない。こんなたぐいの話はずいぶんあるが、野獣のために生命を落すことはめったにない。

わたしが知る例では、バッファロー（アフリカスイギュウ）に重傷を負わされた男がいる。かれは、角で突きあげられ、踏みにじられて、骨折や外傷でひどい目にあった。だが、村人たちはこの男に同情しなかった。バッファローからは逃れることができる。それなのに、やられた男はぐずであるというのだ。バッファローのいる場所はきまっているので近づかなかつたらよい。また、鼻息があらいので、近寄つたらわかるし、その時は木に登つたらよい。また、襲うまえに立止り、方向をさだめてから一直線に突進してくることを2～3回くりかえすが、そのとき身をかわしたらよいというのである。

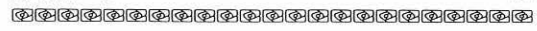
1年間で野獣から重大な危害をあたえられたのは5,000人のなかでこの男だけ。日本の交通事故のほうが野獣よりもこわい。

(国立民族学博物館教授)

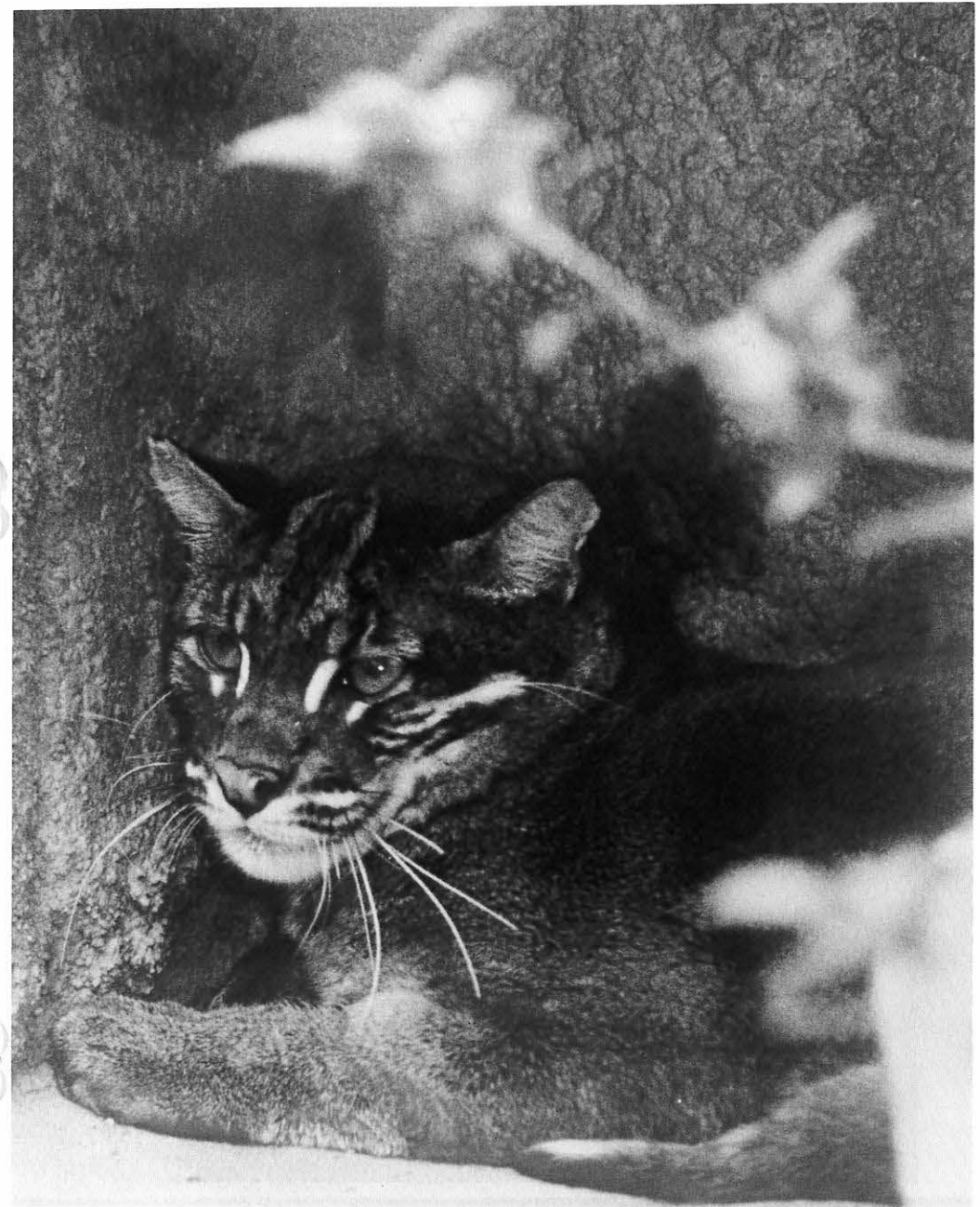


なきごえ7月号もくじ

動物と私 2
“アジアゴールデンキャット入園” 3
動物園グラフ・動物園日記 4-5
天王寺博覧会に向けて 6-7
オセアニアの動物たち 8-9
キーパーズ・アイ ④ 10
動物園ニュース 11



表紙の写真説明
キーウイ Apteryx australis
キーウイという名の由来はその鳴き声から
と言われますが、今月の表紙はキーウイが、
“キーウイ、キーウイ”という鳴き声をあげ
ている大変珍しいカットです。
(撮影：大川 光雄)



“アジアゴールデンキャット入園”

第6次大阪・上海動物交流事業として6月5日に入園しました。中国南部からネパールの森林地帯に生息する金色の毛皮を持つ美しいヤマネコの仲間です。

(撮影：大野 尊信)

動物園グラフ

“最近のキーウィ”



ミミズを探すニュージー

7月2日は天王寺動物園にとって「キーウィ記念日」とも呼ぶべき日です。と申しますのは昭和45年7月2日にニュージーが入園し、昭和57年7月2日にジュンとロンロンが入園しているからです。

今月は入園17年と5年になる3羽のキーウィの最近の動静をグラフでお目にかけます。

(撮影：大川 光雄)



水を飲むロンロン、キーウィ独特のまあるいお尻にご注目



入園18年目に入るニュージー、体調もすこぶる上々です。見て下さい。この羽のツヤを!!

5・6月の動物園日記

- 5 / 6. エランドのオスとバイサオリックスのメス2頭とを同居させました。
- 5 / 7. パーバリープが1頭生まれました。チンパンジーの“リッキー”と“ミナミ”がカゼをひいたので治療をはじめました。
- 5 / 9. ベニジュケイが1羽、人工ふ化しました。今年に入ってやっと離乳したカリフォルニアアシカの子供(昨年生まれ)が、十分エサを食べていないため再隔離しました。
- 5 / 10. シベリヤオオカミの子4頭にワクチンを接種し、体重測定を行ないました。

- 5 / 12. メジロを1羽保護しました。
- 5 / 13. キビタキを1羽保護しました。
- 5 / 14. タスマニアデビルの健康診断のため、血液検査を行ないました。
- 5 / 15. ホッキョクグマの検便を行ないました。
- 5 / 16. アオバズクを1羽保護しました。シマウマのオス1頭をメス3頭と同居させました。オーストラリア・メルボルン市 T. ハガード市長が来園されました。
- 5 / 17. ニホンジカのオスの角が左右とも落ちました。5月1日生まれのショウガラゴが、巣から始めて出ました。



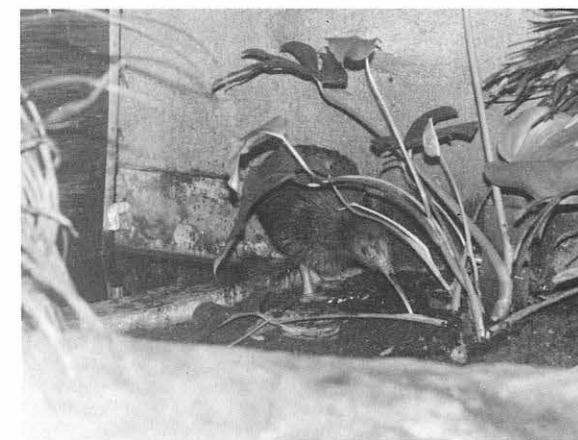
同居させた際のジュン(左)とロンロン(右)です。互いに相手を威嚇するため、丸い体を細長く見せています。



追いかっこをするジュン(左)とロンロン(右)



同居はうまく行かないようです。



ミミズを探すジュン

- アオダイショウが6卵産卵しました。第25回動物のお話とスライドの会「オランウータンの赤ちゃん1年」を開催しました。
- 5 / 18. ニホンザルの本年3頭目の赤ちゃんが生まれました。オウサマペンギンの両親がヒナをはじめて他のつがいに渡しました。
- 5 / 19. キーウィ、ハリモグラ、ハリネズミの体重測定を行ないました。
- 5 / 22. ハクビシンが交尾しました。
- 5 / 23. ニホンザルの4頭目の赤ちゃんが生まれました。アカハシハジロが8羽自然ふ化しました。

- 5 / 25. タンチョウが産卵しました。
- 5 / 27. 飼育研究会が行なわれました。
- 5 / 29. 4月25日ふ化のワライカワセミが1羽巣立ちました。
- 5 / 30. 本年初めてのニホンジカの子が生まれました。
- 6 / 1. エランドの“ミサキ”が1頭出産しました。
- 6 / 4. 中国・上海動物園の張副園長以下2名の方々が第6次動物交流で来園、見学されました。
- 6 / 5. 大阪市と上海市の第6次動物交流により、ニホンコウノトリ一番とアジアゴールデンキャット一番、コジャコウネコ一番が上海動物園より当園に贈呈されました。

天王寺博覧会に向けて

§ はじめに

天王寺博覧会開催まであと1ヶ月足らずとなり、天王寺動物園を含め天王寺公園一帯は、ゲート、テーマ館、パビリオンなど博覧会の施設が、次々と立ち上がり、博覧会ムードも日増しに高まってきています。

今回の天王寺博覧会の位置づけ、会場づくりは、今後の動物園を含め天王寺公園全体の将来計画を進める上に、貴重な体験となり、同時に博覧会後の新しい天王寺公園のあり方が、各方面から強く問われることになるでしょう。

とくに、天王寺公園全体計画の中でも、天王寺動物園の位置づけ、将来のあり方など、博覧会を通して動物園に対する関心も高まってくると思われまます。

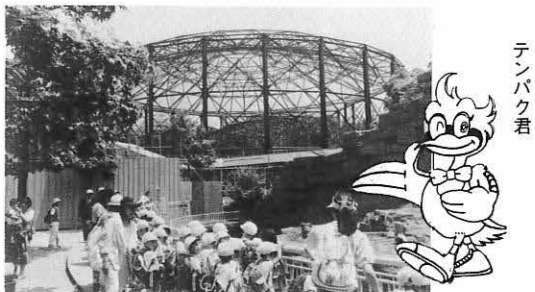
したがって、天王寺博覧会は単に博覧会にとどまることなく、天王寺公園、天王寺動物園の将来計画を大きく左右する重大なイベントとして、とらえ動物園では、現在博覧会開催に向けて、動物園整備計画を早めるとともに、ソフト面でも創意工夫を凝らしながら、新しく生まれ変わろうとしています。

§ 天王寺博覧会とは

① 開催趣旨

「天王寺博覧会」は大阪21世紀計画の開幕をかざった昭和58年10月の「大阪築城400年まつり」と昭和65年に開催される「国際花と緑の博覧会」の中間に位置づけられたビックイベントとして計画されたものです。

「いのちいきいき」のテーマのもとに、生命ある動植物と人のかかわりを通じて、生命の尊さ、生きる喜びなどを訴え、現代に生きる私たちが、ともすれば失いがちな自然や生物への暖かいまなざしとゆとり、うるおいをとり戻す心の糧となることを願って開催されます。



テンバク君

動物園ゾーンの秘密兵器、大バードケージはもうすぐ完成だ。

また、会場となる天王寺公園ならびに周辺地区一帯は、関西国際空港の建設で脚光を浴びてきた国際都市・大阪の南玄関として重要な位置を占めております。この博覧会が、わが国の代表的な都市公園として歴史と伝統を誇ってきた天王寺公園とまちの活性化、さらには新しい都市文化の創造を促す起爆剤となることを期待しております。

② 開催概要

- 名称 天王寺博覧会 略称「天王寺博」
- テーマ “いのちいきいき”
人、いきものの共存をめざして
- 会期 昭和62年8月1日(土)～11月8日(日)
100日間

- 開催時間 8月1日～9月30日：AM9:30～PM9:00
10月1日～11月8日：AM9:30～PM6:00
(但し、天王寺動物園など一部の施設は午後5時まで)

- 会場 天王寺公園 (総面積約25ha)
- 主催 財団法人 大阪21世紀協会
- 後援 総理府ほか

③ 主な展示施設と出展内容

A. テーマ館 映像ブロックと展示ブロック

a 映像ブロック

アイマックス映画“ON THE WING”＝自然のいきものの飛行と人間の機械による飛行を対比しながら、人が飛ぶことを試みた歴史を再現

b 展示ブロック

「生命の誕生」、「いのちいきいき生命賛歌」、「未来をひらく人類の英知」の3つのストーリーから構成

B. 美術館

「金龍、金馬と動物国宝展」中国陝西省出土文物

C. パビリオン

「水河時代の動物たちとシベリア文明展」

(マンモス展)

古生物学上今世紀最大発見の一つといわれる赤ちゃんマンモス「ディーマ」をはじめ、タイミールマンモスの全身骨格、アーキディスコドンの全身骨格の特別展示品を中心にソ連アカデミーが世界に誇るマンモス研究の成果を、展示。世界で初めて完成したコンピュータ合成によるマンモスの声など。

(その他パビリオン)

“いきいきライフ”を主テーマに、「生命・心・知恵」の3つの視点から人と動物のふれあい、未来のくらしと文化など。



円型のパビリオンの土台と、その奥にはレストランが……。

D. その他

- お祭り広場 1,000人収容の大ステージを中心に。
- 子供劇場 動物園ステージにて
- 緑と水のふれあい広場 茶臼山、河底池全域。
- 森のワールドレストラン 美術館前緑地帯
- 懐かしのルナパーク 公園と動物園との接点
- ワールドパザール

§ 天王寺動物園では

今回の天王寺博覧会の開催については、動物園の姿を多くの方々に見ていただき、認識を新たにしていた

だく絶好の機会であると考えています。同時に今回の印象が今後の動物園の活性化に大きな影響を及ぼすことは明らかでしょう。

動物園では天王寺博覧会に向けて、大バードケージ、小形ネコ舎など新しい動物展示施設の建設のみならず、明るく、楽しく、魅力ある動物園づくりのため、園全体の外周柵を動物園入りのステンレスフェンスにグレードアップさせるとともに、園内の売店、休憩所、便所さらに園路、花壇の改修などイメージの一新に努めています。

一方、動物園本来の動物展示についても、珍しい動物を今回新たに展示すべく、大阪市と友好都市である上海市・上海動物園からニホンコウノトリ、アジアゴールデンキャット、コジャコウネコをいただくとともに、入園者に人気の高い、オランウータン、フランソワルトンのベビーなど多くのベビーを展示出展できるよう、繁殖にも力を入れています。

なお、動物園は博覧会場といっても、園の状況から、パビリオンなど博覧会としての展示施設は少ないのですが、動物園自身が動物園の将来計画と整合させながら博覧会の会場として、また一新した動物園として見ていただけるよう最後の追い込みをかけています。

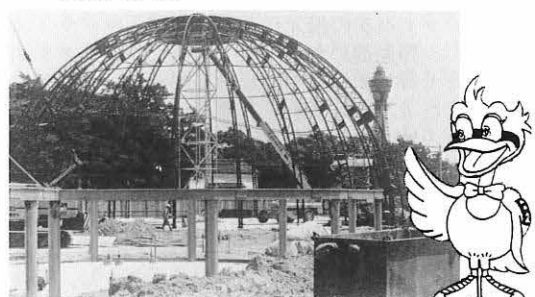
博覧会に合わせ進めている具体的な内容は次のとおりです。

① 動物展示施設

1. 大バードケージの建設 (62年7月完成予定)

動物園南園の日本庭園に、広さ2,500㎡、の大バードケージを建設しています。このケージには、シュバシコウ (ヨーロッパコウノトリ) はじめ約40種200羽の鳥類を放し、入園者がケージの中を散策しながら、鳥が飛ぶ姿や巣を作ったり、エサをついばむ姿などを間近に見て、自然や鳥とのふれあいを楽しんでいただけます。

また、ケージ内には、高木、低木など樹木を多く取り入れ、樹木の間には、滝や川や池など起伏と変化に富んだ自然環境が再現され、自然のままのバードウォッチングも楽しんでいただける日本で最大の施設と言っても過言ではないと思います。



パビリオンの1つ、何がとびだすかお楽しみ!

2. 小形ネコ舎 (62年3月完成)

ネコ科の動物を系統分類学的に展示するためライオン、トラ、などの大形ネコ舎の並びに、小形ネコ舎を建設しました。本年6月に上海市から贈られたアジアゴールデンキャットなど8種

の小形ネコ科動物が展示されています。なお、ヒョウなど中形のネコ舎は、残念ながら、天王寺博にはお目見え出来ませんが来春までには建設される予定です。

3. その他天王寺博までに、補修、塗装を完了する施設

ヒグマ、ゴリラ、シマウマ、サイ、ラクダ、ラマ、カンガルー、キョン、ヌートリア、コウノトリ、チンパンジー、は虫類、小鳥の家など

② 便益施設等

1. 入園者用便所

北園中央の入園者用便所を円型トイレに建替。便所内に動物園入りのタイル等を取り入れ、明るくモダンな便所に一新。なお他の便所については補修及び塗装をします。

2. 園内食堂、売店

中央及び南売店は、民間協力により建替完了。

3. 休憩所

南園円形休憩所は、民間協力により塗装完了。

③ その他

1. 動物園外周柵

動物園西側、南側、北側全面と東側一部の外周柵を建替。新しい外周柵はステンレス製 (動物園入り)

2. 園内人止柵

全面塗装完了。

3. 園路舗装 (一部)

4. 花壇整備

旧サルアパート撤去、白クジャク舎撤去、南園音楽堂跡地の整備により、南園の緑地広場増設

(6) 南園を縦断する公園園路を南園に取り入れ、南園の一体化と園路整備



テーマ館は、映像と展示の2つのブロックからなるんだ。

§ 天王寺博を契機として

ここ数年、全国的に見て動物園の入園者は下降気味であり、各動物園とも打開策に苦慮しているところ。ジャイアントパンダ、コアラなど珍獣誘致により、人気を集めているケースも見受けられますが、我が天王寺動物園としては、何とか今回の天王寺博を契機として、新しい動物園づくりへの第一歩としたいと考えています。市政100周年を迎える昭和64年にはコアラの誘致も実現の運びとなっております。これらの出来事をきっかけとして天王寺動物園の歴史と伝統を守り続けるとともに、さらに発展させたいものだと考えています。

(管理課長：藤野 勝吉)

オセアニアというすぐ頭に浮かぶのは、今、日本中にコアラ旋風をまきおこしているオーストラリアとその南東にあるニュージーランドの2国ではないでしょうか。正確には、オーストラリアの北に位置するニューギニアやグアム、それに北東はハワイ、東はトンガやニューカレドニアまでもがオセアニアの中に入れてあります。日本語で大洋州と呼ばれているこの地域は、その名のとおりに広大な海域に囲まれ、16世紀初頭までは全く未知の世界でした。そしてマゼランの太平洋横断を契機に、次第にその全貌が明らかにされてきたのです。

中世代、オセアニアの島々はアフリカ・インドや南アメリカとともに、ゴントワナ大陸という大きな大陸をつくり、6000万年以上も前の中世代・白亜紀後期からしだいに現在の大陸、島へと分断されていったと考えられています。こうして長い間、孤立の道をたどってきたオセアニアの大陸、島々は、生物学上できわめて特異な進化をとげてきたのです。

§ 産卵する哺乳類

オセアニアは、動物地理学的にはオーストラリア区としてまとめられています。哺乳類では原始的なカモノハシやハリモグラで知られる単孔類、それにコアラ・タスマニアデビル・カンガルーなどに代表される有袋類がオーストラリア特産の動物です。

カモノハシはアヒルのようなクチバシをもち、とても哺乳類とは思えないスタイルをした動物ですが、哺乳類としては珍しくも毒をもつ動物として知られています。

ハリモグラも毒腺をもつ動物ですが、こちらの場合はそれが実際には機能せず、単孔類ではオスにしかない毒注入用のケヅメも、いまでは無用の長物と化してしまっています。それだからこそ当園で毎月行っている体重測定も安心してできるわけです。その代わりに彼らには体毛が変化したトゲが全身に密生し、触ろうものならそのトゲを直立させて、足をぐっとふんばるので捕まえるのは並大抵のことではありません。やっとのことで後足を捕まえ宙づりに



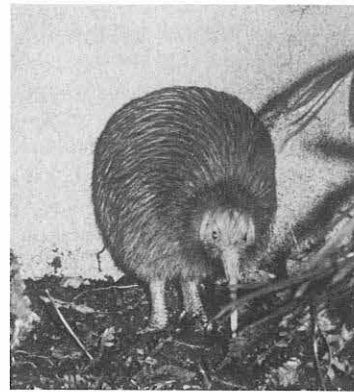
ハリモグラとカモノハシは卵を産む哺乳類として有名ですが、ハリモグラは自分のお腹にできた育児嚢に、仰向けになって卵を直接産み込むことから有袋類といわれています。これは、巣を作って産卵する鳥類的なカモノハシに比べやや進化しているといわれる由縁です。どちらも10日ほどでふ化するといわれ、卵殻を破って出てきた子はあまりにも未熟で、全長ではハリモグラの子は5mm、カモノハシは15~25mmなのだそうです。現在、オーストラリアだけでしか飼育されていないカモノハシの方は、残念ながら飼育下での繁殖は戦前に1度しか成功していないようです。

§ 鼻のきく鳥

単孔類の赤ちゃんに比べ、ニュージーランドにしか生息しないニワトリ大の飛べない鳥・キーウィは、産まれてすぐ自活できる体でふ化します。そのためにキーウィのメスは、鳥にしては体重比で例外的に重い卵（最高では体重の1/4位で、平均440gもあり）を産み、抱卵期間も71~75日とアホウド

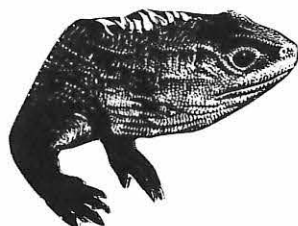
りと肩を並べる鳥類中最長の期間が必要です。ちなみに、ニワトリの場合とはいうと、卵重55~100g、抱卵期間21日にすぎません。

オーストラリアよりも早くから分断されたニュージーランドは、8000万年もの長い間、哺乳類がいま



においてミミズを捜すキーウィ

類がいまそんな環境であったからこそ、飛べない鳥の仲間(走鳥類)で最も小さいキーウィが生き永らえてこられたわけです。その間にキーウィは、先ほど述べたことのほかに数々の進化をとげてきました。キーウィはもともと飛べたものが進化の過程で翼が退化し飛べなくなったとされています。その退化した翼の大きさもダチョウをはじめとする走鳥類の仲間では、最も小さくなり3cmほどしかありません。その翼は、外観を見ただけであるのかどうかは全くわかりません。体を触ってみて初めてわかります。羽自体も鳥一般のヒナにみられる綿羽と同じ構造をしています。また、一見シギ類と似ているキーウィのクチバシは、ミミズを主食とすることからこのような形になったのだらうと思われるのですが、これらの鳥の間には決定的な違いがあります。それは鼻の穴の位置なのです。キーウィ以外の鳥は、クチバシの根元にありますが、キーウィは上クチバシの先端にあるのです。哺乳類のモグラは、触覚にたよってミミズを捜し出しますが、キーウィは嗅覚にたよっています。クチバシの先端に鼻孔が移動したのは、このような理由からだと思われます。この嗅覚同様、夜行性でありながら退化の方向へと向かった小さなその眼は、それに代る感覚器として聴覚を発達させたのでした。このほかの点でも、キーウィの進化は鳥類のなかでは哺乳類的性格を多分に帯びているといわれることから、鳥類では明らかに進化が進んだ種である



ムカシトカゲ全長65cm

といえるでしょう。
§ 生き残った恐竜

それに比べ、ニュージーランドでも、20ほどの小さな島にしか生息していないムカシトカゲは恐竜時代の唯一の生き残りとして、原始の恐竜の面影をその姿にしのばせているハ虫類です。現在、現地で大切に保護されているこの種は、頭の上に第3の目とされる頭頂眼をもち、他のハ虫類でみられるものよりずっと発達しています。尾も普通のトカゲと同じように切りますが、その後の再生は完全ではありません。

§ タスマニアにすむ悪魔

オオカミは、ときに日本でも目撃者の証言からまだ絶滅していないのではないのかといわれたりしますが、オーストラリアの南にあるタスマニア島でもフクロオオカミの生息がとどめられたりします。この島は自然が豊富なため、そのようなことがうわ



子グマのような有袋類

さされても驚くにあたりません。タスマニアデビルもこの島出身で、かつてはオーストラリアにも生息していたことが化石から証明されています。現在では、このタスマニアデビルが、有袋類中最大の肉食動物です。デビルとは、英語で悪魔の意味。子熊のようにかわいいこの動物に、どうしてこのように恐ろしい名前が付けられたのでしょうか。タスマニアデビルは、夜に活動することが多く、その闇のなかで獲物や死肉、ときには飼われている鶏や家畜をまるごと食べ、オオカミにも似た吠え声をあげる無気味な姿をみて、現地の人々は悪魔をイメージしたのではないのでしょうか。しかし、動物園で見ているかぎり、そのようなことは少しも感じることはできません。むしろかわいい感じのほうが強く感じられるに違いありません。

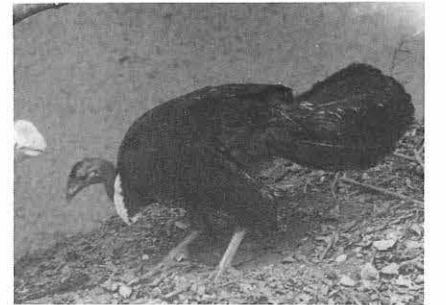
§ 月の鳥

タスマニアのアボリジニーたちが「月の鳥」と呼ぶハシボソミズナギドリは、11月24日から11月26日をピークとした12日間にすべての卵を産み終えるという極端に集中した繁殖で有名です。タスマニア島およびその周辺が、繁殖地になっているこの鳥は、5月、6月に日本沿岸に姿を現すようになります。当園でも、この5月に保護した1羽で昭和51年からの保護数は4羽となりました。南半球から日本沿岸にまでたどりついたときには、かなり体力消耗していることでしょう。この鳥は日本を通過後進路を大きく東にとり太平洋を一回りして生まれ故郷へ戻るので

§ 卵を抱かずにふ化させる

自分で抱卵せずに、発酵熱や地熱によって卵をかえす鳥は、世界中でも東南アジアとこのオセアニアだけにしか生息しません。その鳥こそツツクリの仲間です。オーストラリア南部に生息し、当園でも展示されているヤブツツクリもその数少ない仲間の

1種ですが、キジの仲間にしては珍しくオスがよく働きます。オスは落葉や土でせっせと大きな塚を作り、その中にメスが卵を産むのを待ちます。巣の塚では、発酵熱と太陽熱で高い温度が維持されるといわれています。しかしながら、その鳥にはその鳥のふ卵温度というものがあります。ですからその後の温度管理もオスの役目です。あたかも自分のクチバシを温度センサーよろしく塚につっこみ、最適温度33.5℃になっているかどうかを確かめます。温度が下がれば砂を上をかけ、上りすぎれば砂を取除いて調節するので



塚の中で卵をあたためるヤブツツクリ

す。ふ化したヒナは、土の中から自分ではい上り、その巣から一目散で逃げ去り、独力で生活していきます。

オセアニアにはこのほかにたくさんのおもしろい動物たちがいます。オーストラリアにすむワライカワセミは人間の笑い声のような声を出して鳴きます。ダチョウに次ぐ巨大な鳥・エミューは、オーストラリア全土に分布する走鳥類の仲間、オーストラリアだけでなくニュージーランドにもすむヒクイドリと同様、オスが抱卵や子育てをすることで有名です。

オセアニアは、コビトペンギン、イワトビペンギン、オウサマペンギンなどペンギンたちが繁殖することでも知られています。ペットとして馴染みの深いセキセイインコは、オーストラリアでは水場を求めて、よく大群をなして移動します。



巣立ち間もないワライカワセミ

モモイロインコの大群はそれを上回るとか。インコ・オオム類の種類はここでは実に多様です。そのなかでニュージーランドには飛べないという種類もいます。その名をフクロウオオム(ケア)とい

います。有袋類では、フクロオオカミのように絶滅したのもいれば、フクロギツネのように人間が住んでいる近くにまで進出し生き残りに成功、分布を広げている種もいます。地上で飛びはねているカンガルーがいると思えば、木の上に登って生活しているカンガルーもいます。

このように動物王国・オセアニアの話はまだまだまだつきませんが、またお話できる機会を楽しみにしてここにペンを置きます。

(飼育課・森本委利)

ゆとり満喫、信頼のカード。



ショッピングから海外旅行まで、
1枚のカードでワイドにご利用いただけます。
近鉄がDCおよびVISAと提携した便利な新カード。

近鉄グループカード (キップス) **KIPS**

◎国内・海外のDC加盟店すべてに通用。
◎近鉄百貨店グループをはじめ、都ホテルチェーンなどでの
ご利用にはいろいろな特典が。

近鉄百貨店 お問合せとお申込みは 各店クレジットセンターへ
●アベノ店7階 ●上本町店10階 ●東大阪店本館 ●奈良店4階 ●西京都店1階 (京都ファミリー)

DEAR LIFE BOOKS



生態・飼育・図鑑 一つの本の 中にギッシリ

中川道朗・岩合徳光 / 監修
B5変型判・オールカラー
定価580円

動物園で暮らす様々な生き物達、
自然の中ではどんな暮らしをして
いるのか? 動物園での世話
の仕方は? 仲間とは? など、
写真と精密イラストをまじえ紹
介します。

くらしとかいかたシリーズ<既刊本>

B5変型判・オールカラー・各定価580円

むしくらしとかいかた

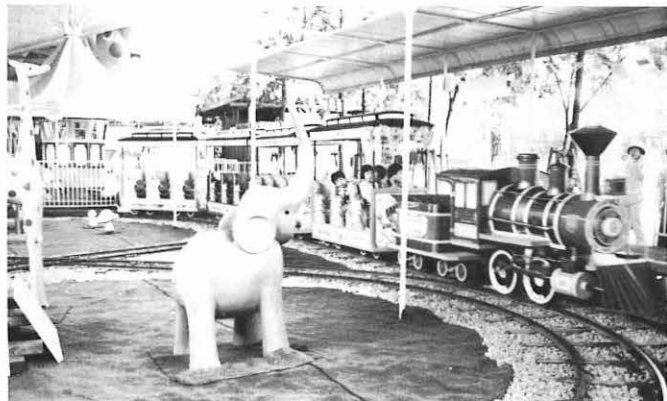
野山でみかける身近な昆虫たち
250種を紹介。

ちいさないきものくらしとかいかた

昆虫以外の小さな生き物を320
種紹介。

お求めは、お近くの書店で。 **ひかりのくに株式会社** 本社 / 〒543 大阪市天王寺区上本町3-2 ☎06-768-1151 代表

たのしいのりもの、が待っています。



1人1回
100円
(1才まで無料)

団体割引
(30人以上)
……1割引

久竹娛樂株式会社
TEL (06) 541-3112

◎園内3ヵ所(南園入口横、北園ステージ横、北園高架下)に各種のりものがあります。

いま、フィルムは 頭脳をもった。



高画質時代をリードする
はるかに美しく

フジカラー SUPER HR

カラの大林

桜橋本店 ☎341-8091
三番街店 ☎372-5031

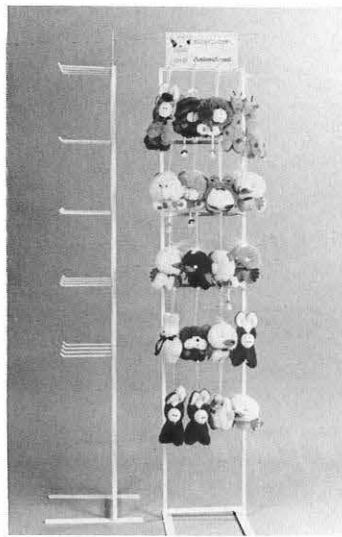


- 貸出品目/ビデオ「動物園へ行こう」
①巻・20分(10本常備)
- 対 象/保育園、幼稚園、小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸 出 料/無料(但し、郵送料450円は必要)
- 申 込 先/当協会まで、電話かハガキで
お申し込み下さい。

動物観察の手引に
**天王寺動物園
ガイドブック**
のご購読をおすすめします。
(1冊¥450)園内各売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会

〒543/大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201

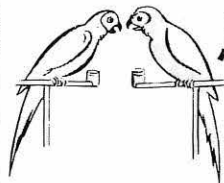


動物ぬいぐるみは 子供のゆかいなお友達

各種ぬいぐるみ企画・製造・卸

有限会社 **アニメランド**

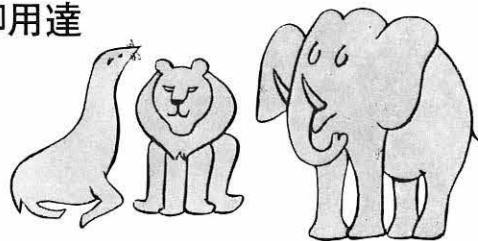
〒547 大阪市平野区西脇4丁目5番22号
TEL: (06)704-8580
FAX: (06)704-8565



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円

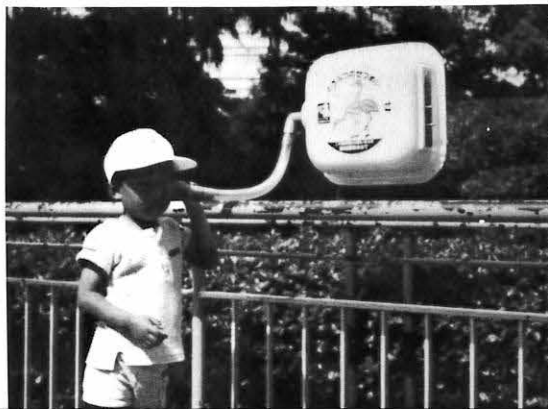


有限会社 **吉川商会**

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

電話(078)221-8195(代)

たのしい動物のお話は、
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



関西特機株式会社
電話 06-762-2333
1回 20円

園内、主要動物舎
30数ヵ所にあります

動物園内での お食事、ご休憩は

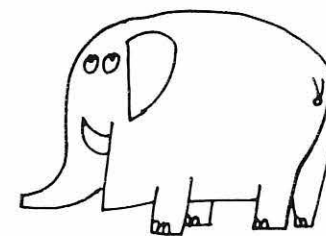
大阪市天王寺動物園内

中央売店

☎ (06) 771-0973



天王寺動物園内

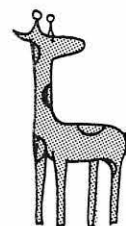


南園売店

代表者 松谷良子

大阪市天王寺区茶臼山町6-74
電話 (06) 771-7110番

園内でのお写真は… 動物園協会指定写真部へご用命下さい!!



◎随時係員が待機して
おりますのでご説明
に伺いました際は、
よろしくお願い致し
ます。

カラー写真 キャビネ1枚 500円

撮影無料にてキャビネ1枚をサービスさせていただきます。
撮影予約も受付しておりますのでご連絡下さい。

国際航空写真株式会社
TEL 06-856-7444

もっとおいしく もっと元気に!... 雪印



果肉とソフトヨーグルト
の名コンビ



雪印 ヨーグルト 130g・250g

おなじみの果肉入りヨーグルト

新鮮です、さわやかです。フルーツが入った、おしゃれなヨーグルト。

ホワイトを基調にしたシンプルなデザインで、ヨーグルトのさわやかさも
ピツパリです。

野生動物をみんなで守ろう

WE SUPPORT WILDLIFE!

天王寺動物園協会の売店に“WWF国際保護動物ぬいぐるみコーナー”が新設されました。このぬいぐるみの売上げの一部はWWFJ(世界野生生物基金日本委員会)に寄付されます。すばらしい野生動物を私たちの手で大切に守りましょう。

ぬいぐるみ販売コーナー新設



お申込み、お問合わせは——

社団法人 大阪市天王寺動物園協会
(天王寺動物園内) TEL (06) 771-0201

株式会社 ファミリア 商事部
TEL (078) 321-0345

●お電話でのお申込みは動物園協会まで。
なお、郵送の場合は実費を負担していただきます。

●WWF(WORLD WILDLIFE FUND)とは?
世界野生生物基金。世界中の危機に瀕している動物たちと、その自然環境を保護するための機関です。



なきごえ 昭和62年7月10日発行(毎月1回10日発行)第23巻 第7号 (通巻263号)

編集/大阪市天王寺動物園

発行人/大阪市天王寺動物園協会 中川道朗

印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共) 1年継続(12部) 1,100円(送料共)

編集委員

(土井良彦/伊東重朗/藤野勝吉/樽本 勲/中川哲男/齊田 尚/宮下 実/長瀬健二郎)
榊原安昭/森本泰利/大野尊信/野口秀高/早川 篤/藪野幸司/堀 弘/大川光雄)

〒543 大阪市天王寺区茶白山町6-74

電話 大阪 (06) 771-0201

振替口座 大阪 37823